

電子マニフェスト 導入事例紹介

The logo for F.tech inc. features a stylized blue 'F' with a red triangle pointing to the right, followed by the text '.tech inc.' in a blue sans-serif font.

2014年2月13日

株式会社エフテック

品質保証課 環境システム係



本日の説明内容

- **会社概要**
- **当社での環境取組み**
- **電子マニフェスト導入事例紹介**
- **おわりに**

本日の説明内容

- **会社概要**
- 当社での環境取組み
- 電子マニフェスト導入事例紹介
- おわりに

商号	株式会社エフテック
本社所在地	埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼19番地
創立	1947年7月1日（昭和22年7月1日）
資本金	26億7,740万円
株式上場	2006年9月 東京証券取引所第一部上場
連結売上高	144,089百万円（2013年3月末現在）
従業員数	グループ合計 5,983名（2013年3月末現在）
事業内容	自動車部品及びそれに伴う金型、設備等の開発・製造・販売
主要取引先	本田技研工業株式会社 日産自動車株式会社 日産車体株式会社 スズキ株式会社 三菱自動車工業株式会社 いすゞ自動車株式会社 ダイハツ工業株式会社 General Motors Corporation TOYOTA Motor North America Inc. 他

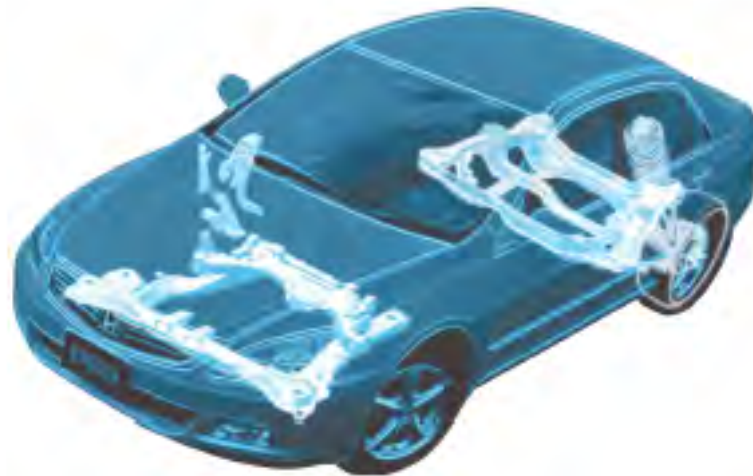
エフテックグループの主要製品

スピーディー、低コスト、確実性はもちろん、安全性や環境性能などの社会ニーズにも対応するため、企画・開発から生産まで一貫して取り組んでいます。

サスペンションやサブフレーム、ペダルなど、自動車の足回り重要保安部品を中心に、独自の一貫体制（企画・開発、金型・設備製作、プレス加工・ハイドロフォーミング、溶接、電着塗装、組立）で製造しています。



FSWによる異材接合された
フロントサブフレーム



ブレーキペダル



アルミハイブリッド製法による
リアサブフレーム



リアアクスルビーム

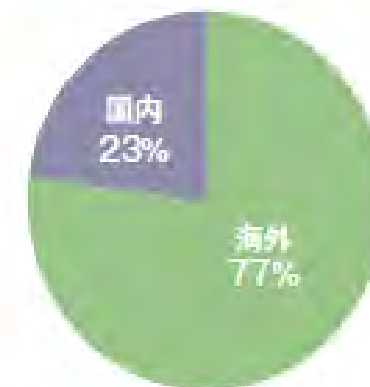


ロアアーム



オルガン式アクセルペダル

【グループ国外拠点】



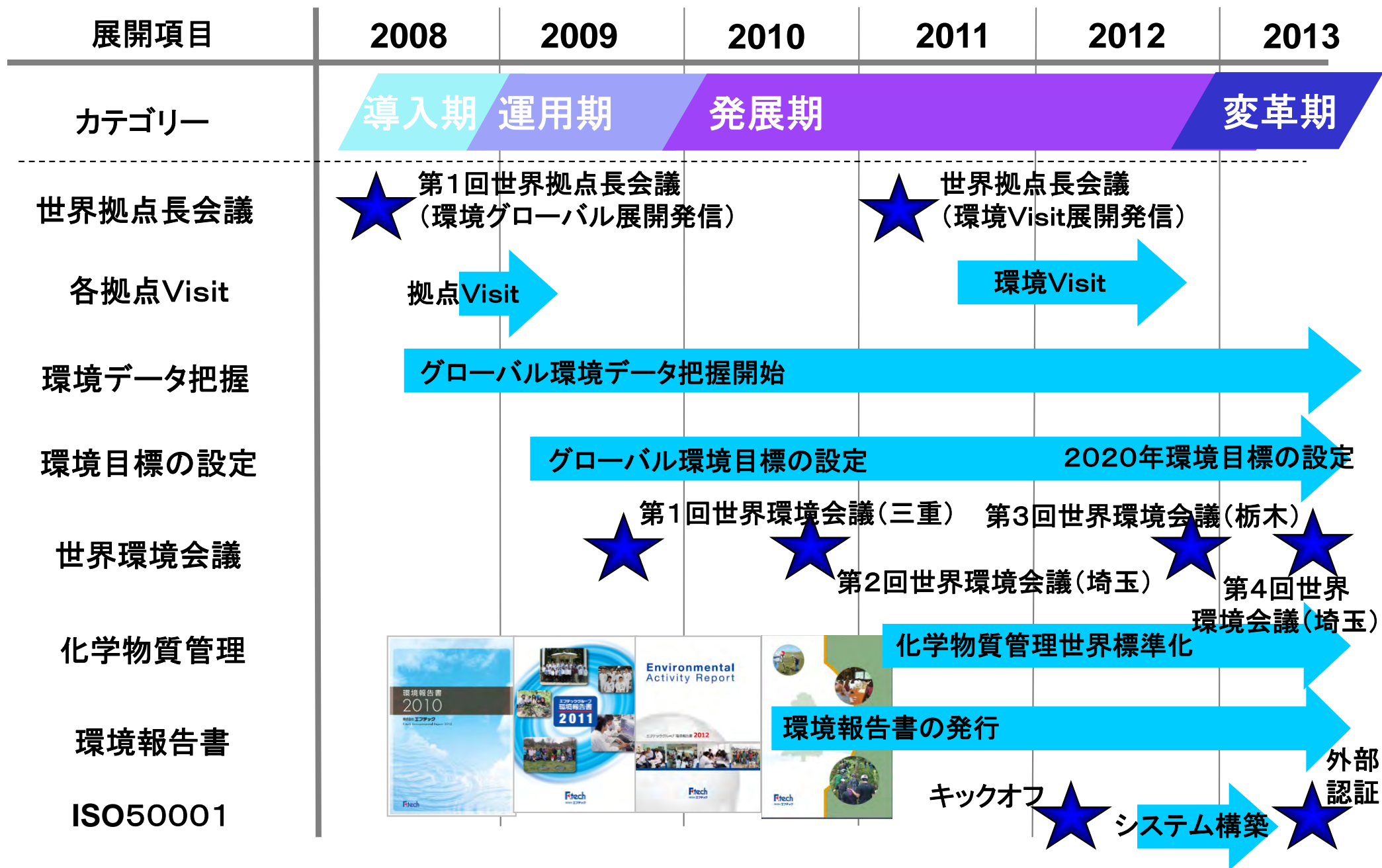
【グループ国内拠点】



本日の説明内容

- 会社概要
- **当社での環境取組み**
- 電子マニフェスト導入事例紹介
- おわりに

環境グローバル展開年表



■ 環境Visitの目的

グローバルマザーの日本が、海外拠点をVisitして次の事項を確実なものとする。

- 1、エネルギー使用の高位平準化、見える化
- 2、製品含有化学物質の非含有保証
- 3、ライフサイクルGHG把握体制の確立
- 4、環境管理体制(ISO14001)の強化



展開スケジュール

2012年

国	拠点名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中国	偉福科技工業(中山)有限公司	★	10/18~21				
中国	偉福科技工業(武漢)有限公司	★	10/24~27				
カナダ	F&P Mfg. Inc.		★	11/8~11			
カナダ	DYNA-MIG A division of F&P Mfg. Inc.		★	11/14~16			
フィリピン	F.tech Philippines Mfg. Inc.			★	12/13~15		
メキシコ	F.E.G. DE QUERETARO S.A. DE C.V.				★	1/17~20	
アメリカ	F&P Georgia, A division of F&P America Mfg. Inc.				2/28~3/2	★	
アメリカ	F&P America Mfg. Inc.					3/5~9	★
タイ	F.tech Thailand						★ (2012年9月実施)

海外9拠点完了!

開催概要

- 日程 : 2013年9月18日~20日
- 会場 : 久喜菖蒲工業団地管理センター
- 参加拠点 : オールエフテック国内外拠点
- 参加人数 : 33名

会議概要

- 環境改善活動の意思統一
- オールエフテック環境目標の進捗確認
- 各拠点有効施策の報告
- 他社研修(日立製作所(株)大みか事業所)
- 見える化研修
- ワイガヤ(顧客要求理解、見える化など)
- グループ間コミュニケーション向上

他社研修

日立製作所(株)大みか事業所

ISO50001 認証取得
2012年7月
(国内電機メーカー初)



ISO50001とは

ISO50001とは、エネルギーマネジメントシステムと呼ばれ事業者がエネルギー使用に関して、体系的な管理を実施する仕組みを定めた世界標準の規格です。ISO50001で求められるシステムとプロセスを確立する事により、**温室効果ガスの排出量やエネルギーコストの低減につなげることが出来ます。**



制定の経緯

- ・2007年11月 米国・ブラジル共同提案
- ・2008年 2月 NWIP (New Work Item Proposal: 新規業務項目提案) 承認
- ・2008年12月 WD (Working Draft: 作業原案) 配信
- ・2009年 6月 CD (Committee Draft: 委員会原案) 配信
- ・2010年 3月 DIS (Draft International Standard: 国際規格案) 配信
- ・2011年 3月 FDIS (Final Draft International Standard: 最終原案) 配信
- ・2011年 6月 国際規格制定
- ・2011年 10月 JIS化

ISO50001は2011年6月に制定されました

2013年10月

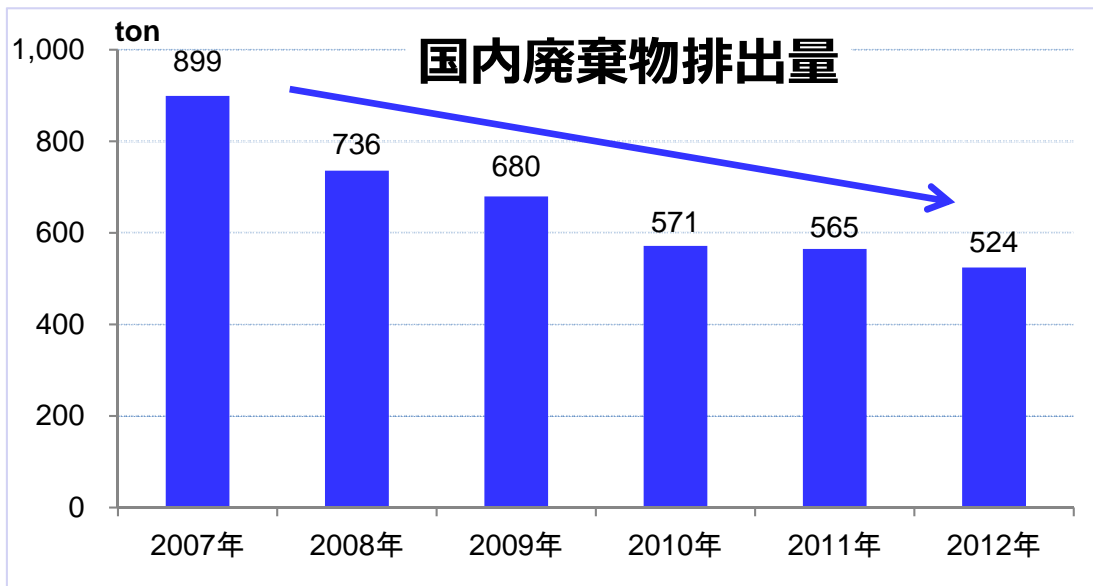
国内自動車部品専門メーカーとして **第1号認証**



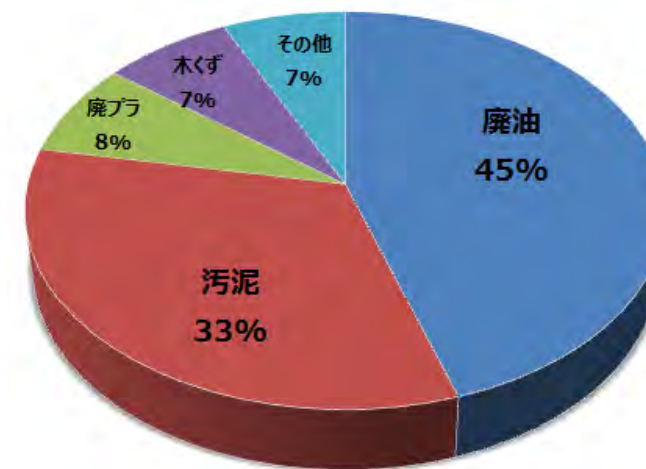
亀山から世界へ



今後は、海外生産拠点へ展開予定。
よりレベルの高いエネルギー管理へ！



2012年国内廃棄物内訳



● 廃棄物削減取組み

ゴミは分別して 出しましょう!

廃棄物分別表

品名	色	備考
資源物	黄色	
燃焼物	赤色	
燃焼物	青色	
燃焼物	緑色	
燃焼物	白色	
燃焼物	茶色	
燃焼物	黒色	
燃焼物	透明	
燃焼物	その他	

2006年ゼロエミッション達成!

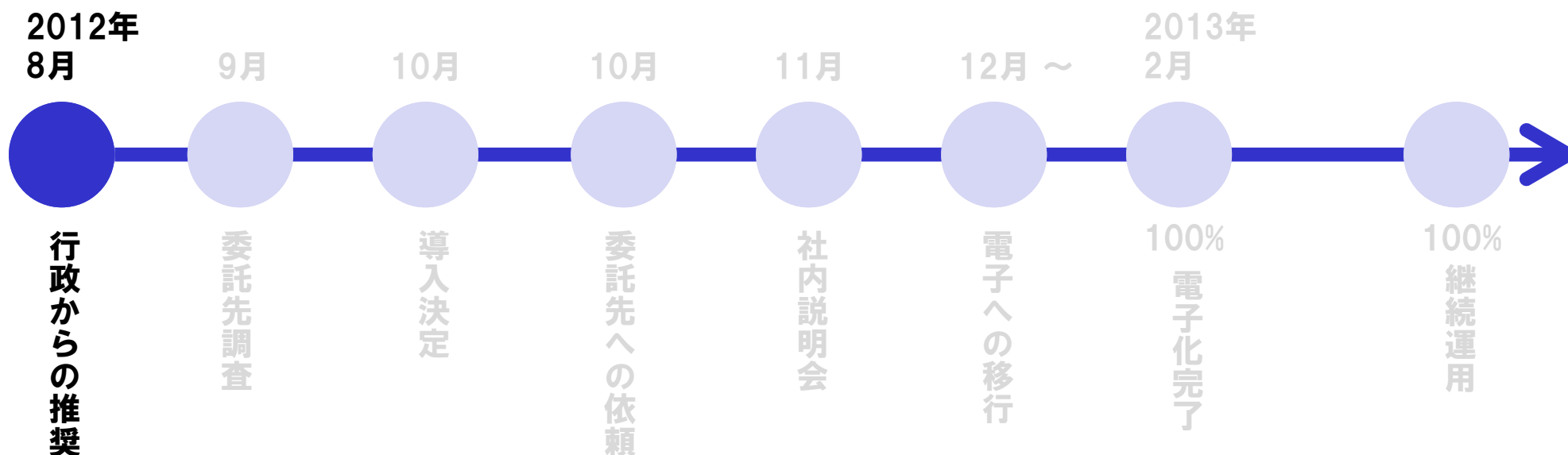
細かな分別廃棄による 廃棄物の減量化を実施



本日の説明内容

- 会社概要
- 当社での環境取組み
- **電子マニフェスト導入事例紹介**
- おわりに

● 行政ご担当者が事業所へ来所、産業廃棄物処理を**より確実**にするためには電子マニフェストが有効であると推奨を受けました。



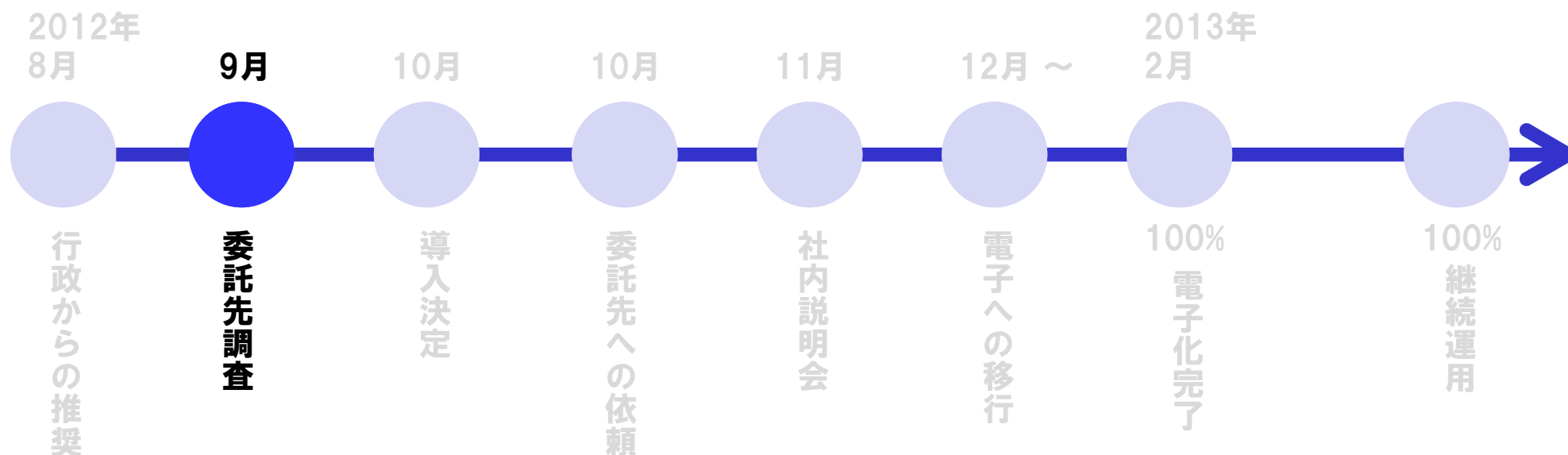
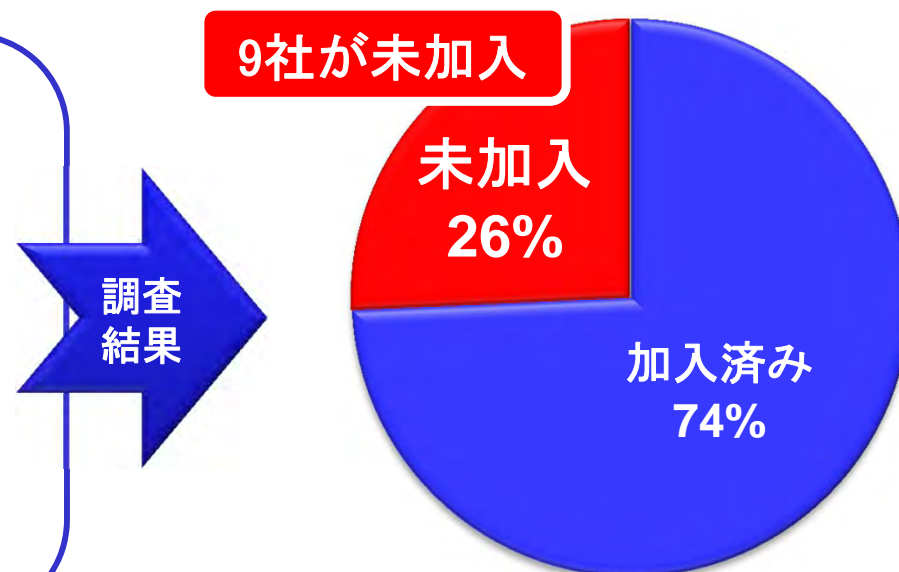
委託先の電子マニフェスト加入状況調査

● 委託先の電子マニフェスト加入状況を調査。

電子マニフェスト加入状況

排出事業者 収集運搬業者 処分業者

Point!
3社全ての加入が
電子マニフェスト運用の**必須条件**



● 全社環境会議にて電子マニフェスト導入に関する検討結果を役員報告。

電子マニフェスト導入検討結果

58期10月
EMS事務局



エフテック産廃委託業者の電子マニフェスト導入状況

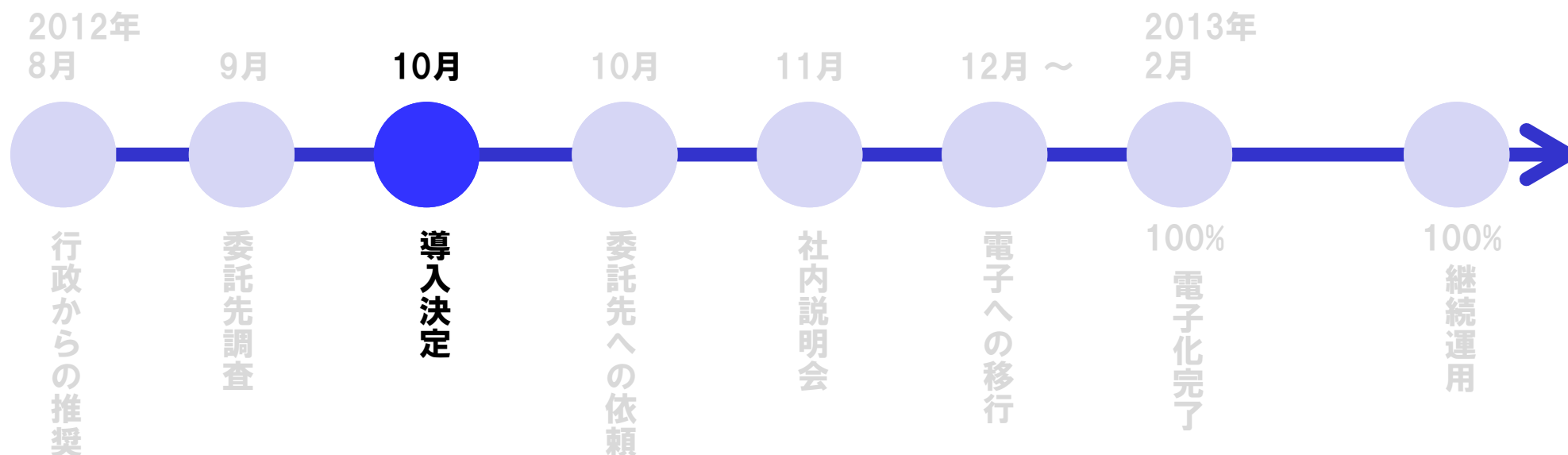
地域	導入状況
久喜	9社/10社導入 未導入1社導入交渉可
亀山	11社/19社導入
芳賀	6社/6社導入

※社: 収集運搬・中間処理または最終処理業者

まとめ

- 三重県からの要望で検討した結果、産廃委託業者のうち25%が電子マニフェスト未導入でした。エフテックが電子マニフェストを導入するのであれば、わが社も。という声も頂いています。周囲を巻き込むことで、電子マニフェストの導入率向上に貢献できます。
- 県からの要請がありました。優良産廃処理業者認定制度を受けた業者への委託と併せてご検討ください。
- 以上で電子マニフェスト対応状況調査報告を終わります。

排出者責任及びより確実な遵法として**全社**で取り組む事が決定！



● 電子化100%を目標に電子マニフェスト未加入の9社に対して加入のお願いを実施。

御社におけます電子マニフェストシステム加入検討結果をお聞かせください。

質問 1. 電子マニフェストシステムに加入していただけますか。
 加入する 加入しない

質問 2. 質問 1. で加入するとご回答いただいた場合、下記各番号をご記入ください。
12月末までに判明しない場合は③をご記入をお願いします。

① 加入する 公開確認番号

③ 加入証が未着の為不明

____年 ____月 ____日頃 加入証受理予定
※番号判明次第下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【加入者番号・公開確認番号とは】
電子マニフェスト発行に必要となる番号です。情報処理センターからの送付物の「加入証、加入内容のお知らせ」に記載されています。
※加入証等は加入申込書郵送後一週間程で届きます。

**検討結果の
ヒアリング**

Point!

8社が新規加入

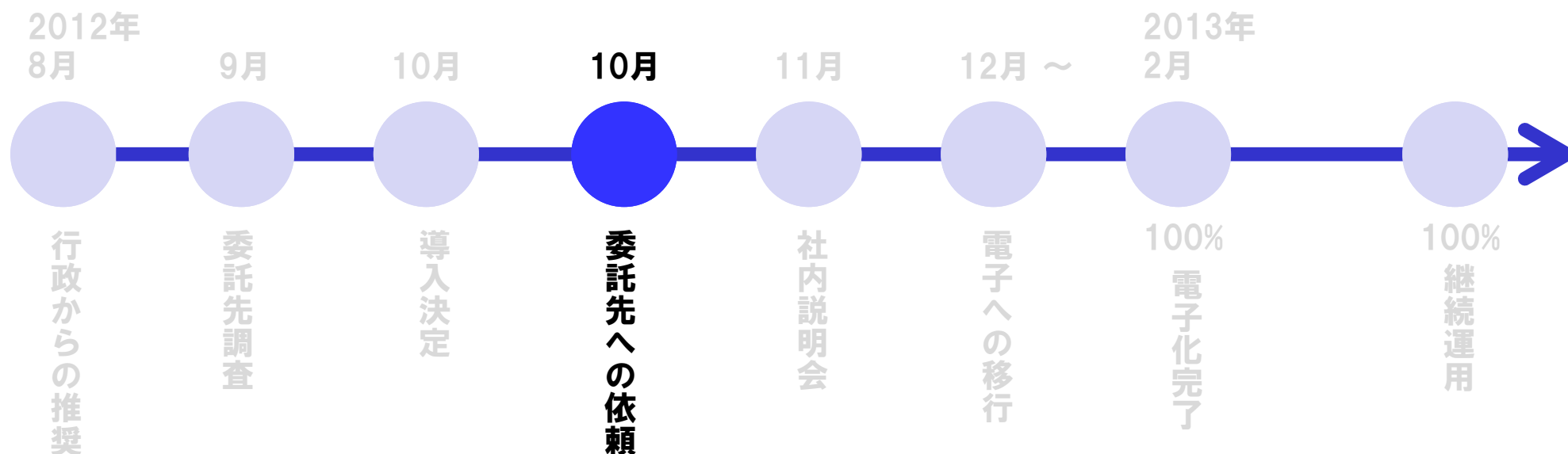
1社が加入して頂けなかった

取引継続

取引中止

電子化100%を目指した背景

1枚でも紙マニフェストが発行されると行政への年度報告や5年間の紙マニフェスト保管義務が発生し、電子化のメリットが薄れてしまう。



- 電子マニフェストにスムーズに移行するため社内説明会及び操作説明会を開催。



社内説明会の様子

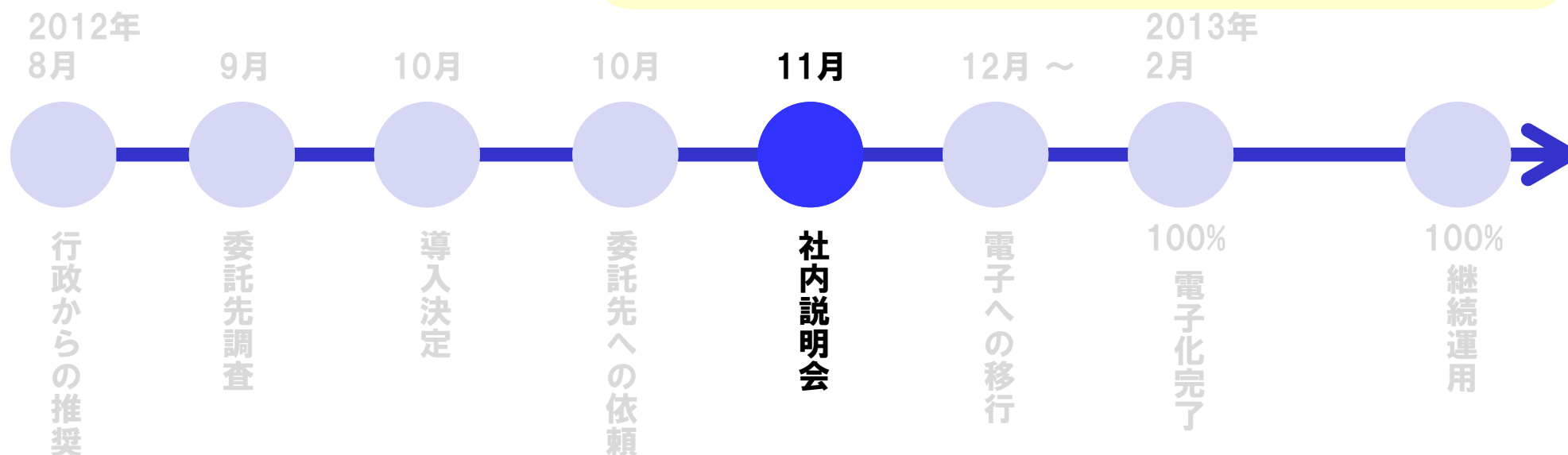
■説明会の内容

- 電子マニフェストシステム導入の経緯
- 電子マニフェストシステム概要
- **電子マニフェストシステム操作説明**
- 質疑応答

システム操作説明

Point!

説明会では、**JWセンター様**から講師をお招きし、**実際の電子マニフェストのデモシステム**を使用して**作業習熟**を行いました。※デモ操作には、ネットに接続出来る環境とPCが必要。



■ 電子マニフェスト入力画面

パターン選択 電子マニフェスト登録等状況報告から除外する

▼ 排出情報
引渡し日 2013/12/05 (yyyy/MM/dd) 引渡し担当者 登録担当者
排出事業場 コード 名称
連絡番号1 連絡番号2 連絡番号3

▼ 産業廃棄物情報
No. 編集 削除 廃棄物の種類 廃棄物の大分類 廃棄物の名称 廃棄物の数量 荷姿 荷姿の数量 数量の確定者 有害物質 放射性物質

▼ 運搬情報
区間 編集 削除 自己 収集運搬業者 積替・保管施設 運搬方法 運搬担当者 車両番号 (再)自己 再委託収集運搬業者

▼ 処分情報
処分業者 処分事業場
処分方法 再生 中間 最終 (選択なし)
再委託先処分業者

▼ 最終処分の場所
 委託契約書記載のとおり 当社指定のとおり
No. 編集 削除 郵便番号 所在地 電話番号

赤字は入力必須項目



入力必須項目

- 【排出情報】 ● 引渡し日 ● 引渡し担当者 ● 排出事業場
- 【産業廃棄物情報】 ● 廃棄物の種類 ● 廃棄物の数量・単位 ● 荷姿 ● 数量の確定者
- 【運搬情報】 ● 収集運搬業者
- 【処分情報】 ● 処分業者
- 【最終処分の場所】 ● 委託契約書 or 当社指定のとおり

操作説明会は実施したが、入力項目が多岐にわたり電子への切替えには混乱が予想

切替えの際の混乱を防ぐため、電子マニフェスト**運用開始前**に
EMS事務局にて必要情報を**※入力パターン設定**しました。

パターン選択 →

No	選択	パターン名称
1	<input type="checkbox"/>	安濃 廃プラ
2	<input type="checkbox"/>	安濃 木くず
3	<input type="checkbox"/>	亀山 プレス 含油廃水
4	<input type="checkbox"/>	亀山 管理 グリストラップ(NK)
5	<input type="checkbox"/>	亀山 管理 グリストラップ(和田)
6	<input type="checkbox"/>	亀山 管理 汚泥(赤)
9	<input type="checkbox"/>	亀山 管理 廃プラ
10	<input type="checkbox"/>	亀山 管理 木くず
11	<input type="checkbox"/>	亀山 管理 油付着ダンボール
12	<input type="checkbox"/>	亀山 生技 含油廃水
13	<input type="checkbox"/>	亀山 塗組 汚泥(赤)
14	<input type="checkbox"/>	亀山 塗組 汚泥(白)
15	<input type="checkbox"/>	久喜 プレス 汚泥

**全60パターンを
運用開始前に登録完了**

当社では、排出される産業廃棄物の種類ごとに排出部門、収集運搬業者、処分業者などあらかじめ決まっている。

※入力パターン設定とは

マニフェスト情報、予約情報を登録する場合に、あらかじめ決まっている入力内容をパターン化し登録内容を簡単にすることができます。

引用:JWNET電子マニフェスト操作マニュアルより

パターン選択時の入力情報

■ パターン選択時の電子 manifests 入力画面

排出情報

引渡し日 (yyyy/MM/dd) 引渡し担当者 登録担当者

排出事業場 名称 株式会社エフテック 久喜事業所

連絡番号1 連絡番号2 連絡番号3

産業廃棄物情報

No.	編集	削除	廃棄物の種類	廃棄物の大分類	廃棄物の名称	廃棄物の数量	荷姿	荷姿の数量	数量の確定者
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	久喜 プレス 含油廃水	廃油			その他		収集運搬業者(区間1)

運搬情報

区間	編集	削除	自己	収集運搬業者	積替・保管施設	運搬方法	運搬担当者	車両番号	(再)自己	再
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		収集運搬業者A						

処分情報

処分業者A 処分事業場A

処分方法 再生 中間 最終 (選択なし)

再委託先処分業者

最終処分の場所

委託契約書記載のとおり 当欄指定のとおり

No.	削除	最終処分事業場	郵便番号	所在地	電話

備考

備考1 荷姿:吸上車 備考2

業務効率UP



パターン選択時の入力項目

- 引渡し日 ● 引渡し担当者 ● 排出事業場
- 廃棄物の種類 ● 廃棄物の数量・単位 ● 荷姿
- 数量の確定者 ● 収集運搬業者 ● 処分業者
- 最終処分の場所

- 引渡し日
- 引渡し担当者
- 廃棄物の数量

入力パターン設定活用により担当者の業務負荷軽減、スムーズな移行を実現

担当者別ログインページのカスタマイズ

現状

- ・入力全60パターンが表示され間違っ
たパターンを選択してしまう恐れがある。
- ・三重県、埼玉県共に委託している処分
業者があり間違っ
た事業所を選択してしま
う恐れがある。

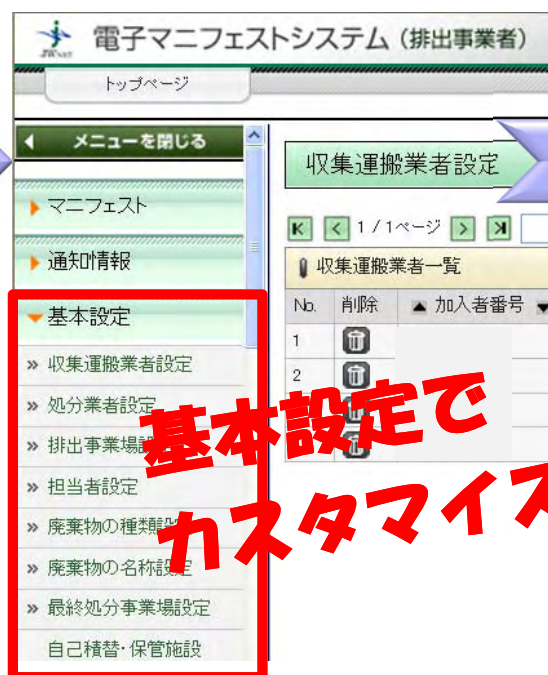
入力パターン一覧			
No	編集	削除	パターン名称
1			安濃 廃プラ
2			木くず
3			プレス 含油廃水
4			亀山 管理 グリストラップ(NK)
5			亀山 管理 グリストラップ(和田)
6			亀山 管理 汚泥
7			亀山 管理 蛍光灯

処分業者一覧						
No	選択	加入者 番号	許可 番号	名称	事業場 区分	事業場名称
1		3000666	001666	A社	中間	A社 ○○事業所
2		3000741	000728	A社	中間	A社 ■■事業所
3		3001571	001604	B社	中間	B社
4		3005521	002742	C社	中間	C社
5		3009432	002009	D社	中間	D社
6				E社	中間	E社

60項目

改善

- ・基本設定から、各サイト、各部門で
該当する廃棄物情報のみ抽出し登録。



基本設定で
カスタマイズ

改善後

- ・各部門で該当する廃棄物情報のみ
表示されるようになった。

入力パターン選択		
2項目		
入力パターン一覧		
No	選択	パターン名称
1		久喜 プレス 汚泥
2		久喜 プレス 含油廃水

処分業者一覧						
No	選択	加入者 番号	許可 番号	名称	事業場 区分	事業場名称
1		3000666	001666	A社	中間	A社 ○○事業所
2		3000741	000728	B社	中間	B社
3		3001571	001604	C社	中間	C社
4		3005521	002742	D社	中間	D社
5		3009432	002009	E社	中間	E社

必要情報のみ表示

担当者別ログインページをカスタマイズする事により選択ミスを防止

● 電子マニフェスト独自マニュアルの作成

1. 全サイト共通

項目	資料	補足
電子マニフェスト制度について	電子マニフェスト制度.ppt	58期8月度全社環境会議報告資料
久喜・芳賀向け説明会	電子マニフェストシステム.ppt	2012.11.28開催 2サイト向け依頼事項記載
亀山向け説明会	電子マニフェストシステム.ppt	2013.01.28開催 亀山向け依頼事項記載
ログインページ システム操作方法	https://www.jwnetweb.jp/wusr/index.html http://www.jwnet.or.jp/jwnet/siryo/siryo_jwnet_m.html	
ログイン資料	ログインIDを掲載	
電子マニフェスト登録方法	登録方法(簡易版).pdf	
運用方法補足資料	電子マニフェスト運用資料.pptx	登録と引き渡しの流れ パターン登録について 依頼事項まとめ 基本情報の共有方法
よくある質問	よくある質問.xls	
電子化に伴う変更点	電子化に伴う変更点.xls	JWnet HP よくある質問 http://www.jwnet.or.jp/jwnet/members/faq/index.php

社内イントラ
ネットで共有

電子マニフェスト運用について

作成：品質保証BL EMS事務局

はじめに
・本資料はガイドブックその他電子
目的としています。基本操作に
・本資料中に出ている以下の言葉の
説明会資料： 58期電子マニフェ
ガイドブック： 電子マニフェスト
※数字はページ数です。

目次

- 登録と引き渡しの流れ P3-7
- パターン登録について P8-13
- 依頼事項 P14-19
- 基本情報の共有方法 P20-27

パターン登録の産廃種類を変更する場合②

② Ⅱ 全情報を入力 最終空白 空白:必須 青枠:P4へ詳細を記す

パターン登録時

産廃の種類(技特)

パターン登録の確定が違つて提出形式変更の為毎回変えるのが面倒→P6
赤枠内産廃物情報・収集運搬業者・処分業者を確定してから登録/予約登録をクリック
産廃の種類を変更する場合→P3.4
※誤って別の集積場番号・処分業者を選択した場合は訂正できません

注意事項

現状：電子マニフェスト運用方法

各電子マニフェスト対象者ごとにマイページを作成、所属部門関連情報のみ
反映させることで情報検索の無駄を省き、誤操作を防止しています

例：芳賀担当者のページ反映情報

例：久喜・藤原担当者のページ反映情報

ノウハウ

共有方法①
ご自身のページにログインし、
パターン内容の変更を完了させます。
※今回の場合だと2つパターン削除
変化点：グリストラップ2件削除、
パターン総数は8→6に

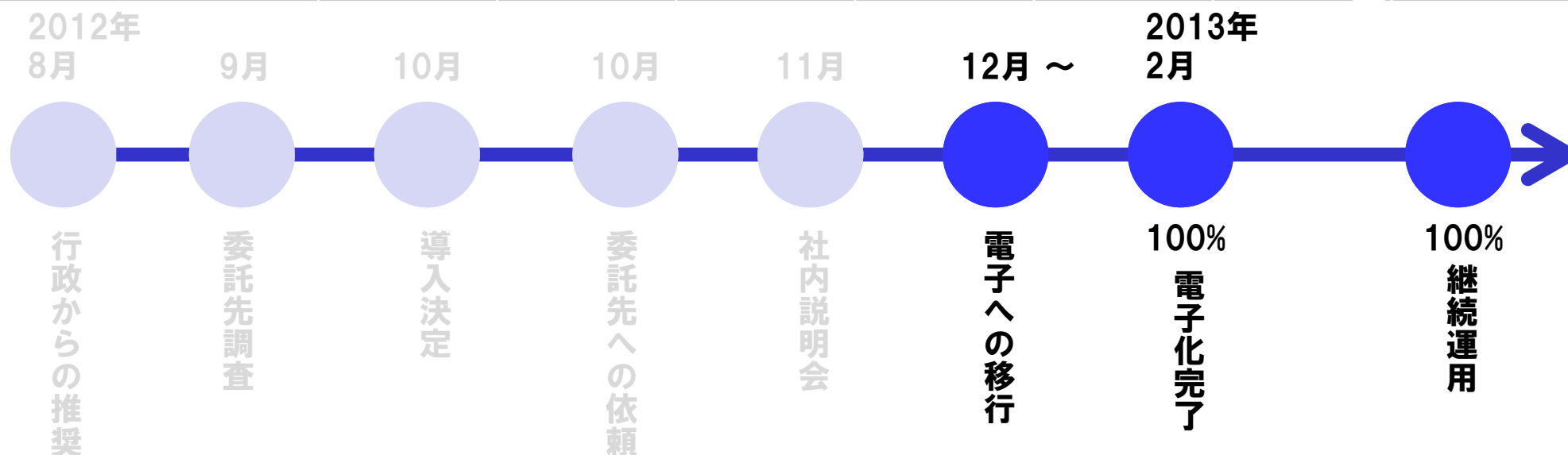
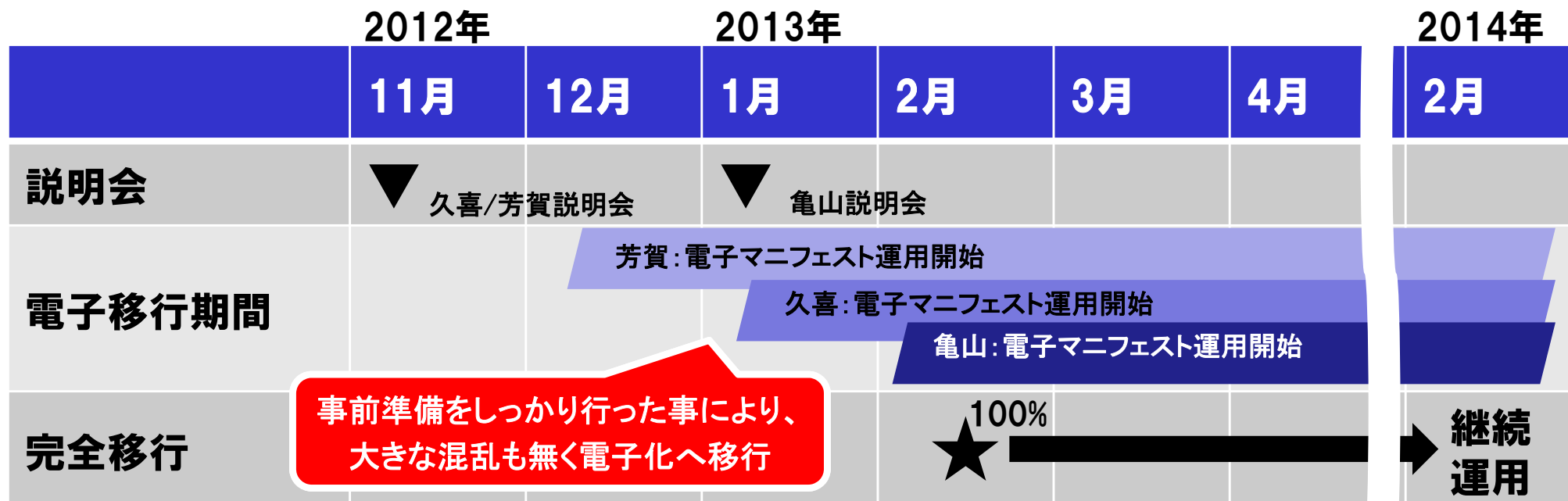
共有方法③
5 Last!
Fのバックアップファイルを基に
共有するため、担当者設定を見る
Fの名前、情報もTのページに反映
されます

補足説明

機能活用方法や、ノウハウ、操作のコツなどをまとめた資料を作成

電子マニフェストへの移行

● 委託業者の新規加入、社内での説明会を経て電子マニフェストへの移行スタート。





マニフェスト管理担当者の声

都度返送される各票の照合作業に台帳で管理していましたが、電子化に伴いかなり業務工数が減りました。



マニフェスト発行担当者の声

電子マニフェストシステム操作には不安もありましたが実際に操作登録してみると非常に簡単でした。



EMS事務局の声

廃棄物データの精度が向上し、データ抽出漏れや転記ミスによるデータ間違いなどが無くなりました。

紙マニフェスト運用時

廃棄物区分①=特別管理産業廃棄物/②=産業廃棄物/③=一般廃棄物							A票	B票	D票	B票		
廃棄物区分	廃棄物内容	重量 容量	単位	廃棄物 発生部門	収集 運搬業者	中間処理 最終処分業者	マニフェスト No.	交付 年月日	処分委託者 受入証明日	処分担当者 処分完了日	最終処分 証明日	最終処分 方法
②	廃材	134	kg	全部署			2506201834	12年5月25日	12年5月25日	12年5月26日	12年6月5日	破砕②

照合作業のため、独自の台帳に以下の情報を手入力し管理していた

- 廃棄物内容 ● マニフェスト番号
- 収集運搬業者名 ● 処分業者名 ● 引き渡し日
- 各票戻り日 等

電子マニフェスト導入後

No	一括選択 <input type="checkbox"/>	登録の状態	報告期限	▲ マニフェスト番号 ▼	運搬	処分	最終
1	<input type="checkbox"/>	登録		12482761	●	●	
2	<input type="checkbox"/>	登録		12482982051	●	●	
3	<input type="checkbox"/>	登録		12484262313	●	●	
4	<input type="checkbox"/>	登録		12486337206	●	●	
5	<input type="checkbox"/>	登録		12486337655	●	●	
6	<input type="checkbox"/>	登録		12483616309	●	●	
7	<input type="checkbox"/>	登録			●	●	
8	<input type="checkbox"/>	登録			●	●	

照会機能で一覧表示
通知メール機能で遵法性UP
CSVデータでダウンロード可能

紙マニフェスト運用時の困りごと

- 台帳管理による業務負荷
- 記入漏れや記入ミス
- 紙マニフェスト紛失の恐れ（5年間保管）
- 交付担当者（現場）からマニフェスト管理担当者（管理部門）への送付（連絡）漏れ

種類(普通の産業廃棄物)		種類(特別管理産業廃棄物)		数量(及び単位)	荷姿
<input type="checkbox"/> 0100 燃えがら	<input checked="" type="checkbox"/> 1200 金属くず	<input type="checkbox"/> 7000 プラスチック類	<input type="checkbox"/> 7100 繊維類	1 m ³	バラ
<input type="checkbox"/> 0200 汚泥	<input type="checkbox"/> 1300 ガラス・陶磁器くず	<input type="checkbox"/> 7200 金属くず	<input type="checkbox"/> 7300 感染性廃棄物		
<input type="checkbox"/> 0300 廃油	<input type="checkbox"/> 1400 鉱さい	<input type="checkbox"/> 7400 有害物質等	<input type="checkbox"/> 7430 13号廃棄物(有害)		
<input type="checkbox"/> 0400 廃酸	<input type="checkbox"/> 1500 家畜の糞尿				
<input type="checkbox"/> 0500 廃プラスチック類	<input type="checkbox"/> 1700 家畜の死体				
<input type="checkbox"/> 0600 紙くず	<input type="checkbox"/> 1800 ばいじん	<input type="checkbox"/> 7300 感染性廃棄物	<input type="checkbox"/> 7430 13号廃棄物(有害)		

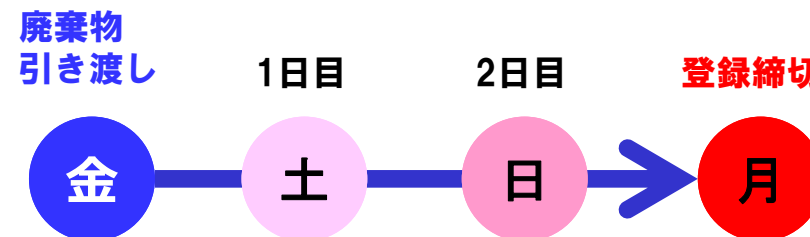
電子マニフェスト導入で得たメリット

- 記載内容不備、マニフェスト紛失の防止
- マニフェスト5年保存義務の免除
- 産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出免除
- 各マニフェストの運搬、処分状況がPC上で容易に確認できる
- 会社独自のマニフェスト管理台帳が不要(交付番号、票戻り状況等)
- 排出データをCSV形式で抽出できるため、排出実績管理が容易になる
- 通知メール配信機能(処理終了期限間近、各処理終了報告等)

① 3日以内登録ルール

- 電子マニフェストは引き渡し日翌3日以内に登録

→長期連休期間中の廃棄物処理に注意



② 1件ごとに課金

- 紙マニフェスト同様登録 1 件ごとに課金される

→修正不可項目で誤登録をした場合、登録内容の削除・再登録→追加費用発生

修正不可項目

- 収集運搬業者 ● 積替保管施設 ● 処分業者・処分事業場

③ 受渡確認票の印刷

- 収集運搬業者向けに廃棄物に関する書面を発行

→担当者不在時の対応に注意

電子マニフェスト 受渡確認票

自社フォーマット 受渡確認票

本日の説明内容

- 会社概要
- 当社での環境取組み
- 電子マニフェスト導入事例紹介
- **おわりに**

電子マニフェスト導入・運用までには、委託処理業者への働きかけや、各初期設定など様々な準備が必要となります。

しかし、導入・運用後得られるメリットは非常に多く、電子マニフェストは産業廃棄物に関する遵法管理強化に非常に役立つシステムであることを実感しています。

今後も、当社は産業廃棄物排出者の責任を全うし、産業廃棄物の削減、廃棄物処理に関する遵法管理のレベルアップを図っていきます。

ご清聴ありがとうございました